

秋だしパンジー苗の栽培法

(園試高冷地開発センター)

1. 背景とねらい

近年、花壇苗の消費は花と緑に対する需要の高まりを背景として増加している。寒冷地である本県でも夏期冷涼な条件を活用して暖地の良品が出回る前に出荷する苗物の生産が施設利用体系の中に導入されつつある。苗物品目としては、パンジーが多く栽培されているが、夏の冷涼気象を利用した10月出荷が目標である。しかし、気象変動の中で育苗期から鉢上げ後の高温環境により生産が不安定になる事例もみられる。また、輸送コストがかかるため、鉢土の軽量化、低コストに出荷することが求められている。そこで高品質、安定生産、低コスト化について検討してきたところ成果が得られたので参考に供する。

2. 技術の内容 1) 育苗技術

- (1) は種前に発芽促進処理を行う。その方法は種子を流体ゲル中に浸漬し、10℃程度の低温庫内で7日程度処理する。その後には種するが、25℃程度の高温期における発芽促進効果が高い。また、発芽勢、発芽率から発芽適温は15～20℃である。
- (2) セル成型育苗におけるセルトレイは合成樹脂製のセル容量9～15mlの288～200穴が適する。
- (3) 育苗培地には下記の培地が適する。培地によっては細粒被覆燐硝安加里の施用により苗の大きさや根鉢形成が向上する。細粒被覆燐硝安加里の施用量及び、育苗期間、鉢上げ時期葉数は以下のとおりである。

育苗培地	細粒被覆燐硝安加里40日タイプ 培地1畝当り施用現物量(g)	育苗期間 (日)	鉢上げ時期 葉数(枚)
セル苗専用培土N170	0	30～35	3.5～4.0
メロミックス360、7°ラゲミックス	1 ～ 2	35～40	4.0～5.5
システムソイル野菜用	1 ～ 2		

- (4) 出荷開始時期を10月上旬とするは種期は7月上中旬である。

2) 鉢上げ時からの管理技術

- (1) 鉢上げ用土資材の組成と混合割合は原土：腐葉土：十和田砂を3：1：1程度とする。

原土の材料としては作業性から腐植質火山灰土壌が適しているが、中粒質の沖積土壌、三紀層土壌も利用可能である。

- (2) 鉢上げ用土の施肥量は用土1畝当り成分で窒素0.3～0.4g、リン酸1.3～1.4g、カリ0.3～0.4g程度とする。

- (3) 雨よけ栽培により良花数が多くなり、品質が向上し、出荷可能鉢割合が高まる。

3) 適応地域 県下全域

3. 指導上の留意事項

- 1) 品種はマキシム系（中輪種）、デルタ系（大輪種）等とする。出荷する時にはトレイの中に5～7色の色あわせで出荷するため、品種選定に当たっては事前の調査が必要である。
- 2) 流体ゲルは水1ℓに高吸水性高分子化合物を3～4g程度混合させたものである。種子は10～15ml浸漬できる。また、発芽促進処理は、種子を湿らせた濾紙等の上に置いても可能であるが、水中に浸しておかないようにする。

4. 試験成績の概要

表1 育苗培地による苗質の経過

区	は種後日数 (日)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	10株乾物重		根鉢	葉色	子葉 変色	引拔 張力 ¹⁾
				T(g)	R(g)				
鉢苗専用培土N170	32	2.6	3.7	—	—	○	28.2	少	
	44	2.7	6.1	0.42	0.20	◎	22.4	中～多	120
鉢苗専用培土N220	32	2.9	4.1	—	—	○	26.4	少	
	44	3.2	6.3	0.50	0.21	◎	23.2	中～多	117
鉢苗専用培土	32	3.3	3.8	—	—	○	31.4	極少	
	44	3.5	6.4	0.58	0.26	◎	22.6	中	203
鉢ミックス360+細粒2g/ℓ	32	3.3	4.3	—	—	○	31.0	極少	
	44	3.4	7.2	0.80	0.32	◎	28.4	少	155

引拔張力¹⁾：丸型バネ式テンションゲージ値（g）

表2 鉢上げ用土資材の組成による生育、開花、品質

No.	区名	開花鉢率の推移(%)					11月12日の生育			
		9月		10月		11月	株はり (cm)	草丈 (cm)	葉身長 (cm)	葉身幅 (cm)
		30日	4日	14日	22日	12日				
1	火山5：腐3：十和2	10	40	60	60	80	17.1	10.8	5.3	3.5
2	沖積5：腐3：十和2	10	10	30	50	90	16.4	10.3	5.0	3.5
3	三紀5：腐3：十和2	20	30	30	80	100	16.5	9.8	5.2	3.5
4	火山3：腐1：十和1	10	40	50	70	100	16.0	10.7	5.4	3.5
5	火山1：腐1：十和1	0	0	30	50	100	17.3	11.0	5.8	3.7
6	火山1：十和1：モミ1	0	0	20	40	75	15.9	9.4	4.9	3.4
7	火山1：バーク1：バークミ1	0	0	10	20	75	16.9	10.5	5.5	3.5

*腐：腐葉土、十和：十和田砂、モミ：モミ殻（乾燥）、バーク：バーク堆肥、バークミ：バークミキュライト、火山：腐植質火山灰土壌、沖積：沖積土壌（中粒質）、三紀：三紀層土壌（中粒質）